

令和 6 年度 第 17 回

病院経営戦略会議報告

日 時 令和 7 年 1 月 7 日（火） 13 時 00 分～13 時 25 分
場 所 3 階講堂会議室 1・2
出席者 朝見副院長、池田副院長、金子副院長、原看護部長、池田栄養科長、
西田保健衛生局理事、細沼保健衛生局総合調整幹、堀越病院経営部長、
坂口病院総務課長、三上病院施設管理課長、富田病院財務課長、
増田医事課長、藤川情報管理室主査（代理）、田中患者支援センター副所長
事務局 病院総務課 天本

内 容

◎坂口病院総務課長

【報告事項】

（看護師の夜勤専従について）

- ・人事課と協議した結果、夜勤専従が認められたので、今後看護部と調整しながら導入に向けて進めていきたい。

◎三上病院施設管理課長

【協議事項】

（給食業務について）

- ・病院の経営状況改善のため、給食業務について、栄養科と検討を行った。
- ・給食業務委託費の内訳は、基本額と食材費に分かれるが、このうち食材費については、物価高騰により単価の削減は困難であり、また、入院患者数の増加により食数の削減も困難であることから、人件費上昇の影響はあるものの食数の影響を直接受けない基本額の部分を削減したいと考えている。
- ・具体的には、現状では一般食とは別に毎日実施している朝と昼の選択メニューを、今後は、朝は廃止、昼を週 2 回のみ実施するよう変更することにより経費削減を見込むもの。
- ・選択メニューについては、平成 18 年の診療報酬改定により加算が廃止されたが、以降は当院のサービスの一環として継続されてきた経緯がある。今回の削

減によりサービスが低下するというご意見もあるかと思うが、それも踏まえて本件の実施についてご協議いただきたい。

→朝食のご飯かパンかの選択はできるのか。(朝見副院長)

→今まで通り可能。(栄養科長)

→本件については、案のとおり実施することに決定する。(朝見副院長)

◎富田病院財務課長

【報告事項】

(令和6年度上半期 病院経営状況報告について)

- ・令和6年度上半期の収支状況は、前年より約7,860万円収支が悪化し、約3億6,970万円の赤字となった。
- ・12月12日に全国自治体病院協議会が公表した全国の自治体病院の上半期収支の調査結果によると、400床以上の病院では、前年より1億4,500万円の収支悪化となっており、当院以上に厳しい状況となっている。また、当院においても実施している経営改善策を全国の病院においても実施している状況であることがわかり、人事院勧告を踏まえた給与改定を「実施しない」と回答した病院は全て独立行政法人であった。
- ・全国的に病院を取り巻く環境が厳しいことから、昨年10月に四病院団体協議会において、病院への緊急財政支援についての要望を実施している。
- ・これまで病院において実施してきている経営改善策として、市立病院経営改善検討プロジェクトでの検討、医療機関訪問の実施、総務省の地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業の活用、2次及び3次救急の応需率の向上について、市長・副市長に報告した。
- ・また、参考として、入院収益、外来収益、給与費、材料費、経費の状況も報告した。特に、7月の入院収益については、病床稼働が新病院において過去最高値を記録し、単価も高単価であったことから過去最高収益となったこと、電気使用量については院内で節電に取り組んでおり、8月は前年比マイナス6.5%となったことを説明した。

◎増田医事課長

【報告事項】

(ベースアップ評価料について)

- ・12月の給与改定に伴い、病院職員の給与のベースアップに対して診療報酬上の評価を行う趣旨である「外来・在宅ベースアップ評価料」と「入院ベースアップ評価料」の届出を行った。

◎西田保健衛生局理事

- ・少しデータが古くなるが、12月16日の週からインフルエンザの流行状況が警報レベルとなっている。定点当たり30人を超えると警報レベルとしているが、12月16日の週に32.65となった。今後も増えると思われるので、ご注意ください。

◎原看護部長

- ・年末年始のトリアージは無事に終わった。トリアージ利用者が112人でそのうちインフルエンザが65人、新型コロナウイルス感染症は5人だった。